

工務
氏と宮
それぞれ
表彰状
盤労働
ルタン
所長を
り返し
るの
た安全
加者全
らなる

前には
協
（含む）
全パト
を盛り
業計画
か、新
も行わ

内
湖周辺
等によ
用排水
大曲排
耐震性

課題の
案)を
行期間

6-2
庶務課

総会を3年ぶり通常開催 定例会などより活発化へ 広島県コンクリート診断士会

広島県コンクリート診断士会（十河茂幸会長）

は10日、広島市中区で第12回総会を開催。2021年度事業・決算報告など各議案を慎重審議したほか、22年度は定例会などの事業をより活発に推進し、中国地方整備局と中国5県の診断士会による意見交換会などを企画していくとした。

総会は3年ぶりの通常開催。冒頭のあいさつで十河会長（近未来コンクリート研究会）は、沈静化したつつあるコロナ禍を踏まえた今後の事業展開に触れ、「設立以来定期開催している定例会の活動をより一層活発化させ

たい。会員の皆様の役に立つ内容を盛り込み、2カ月に1回程度の開催を目指していく」と強調した。

議事では、感染対策を実施しながら取り組んだ定例会（第46〜48回）やコンクリート調査・診断・補修業務への講師派遣事業などの21年度事業報告と収支決算を滞りなく承認。

22年度新規会員として2人、賛助会員2社を迎えて会員数92人、賛助会員29社となったことも報告し、22年度はコンクリートの調査・診断・補修技術に関する情報収集及び提供、会員の親睦・技術研鑽、調査・診断・補修業務の支援などの従来事業を実施していくほか、中国5県の診断士会と連携し、中国地方整備局との意見交換会を開催予定であるとした。

このほか、記念講演も開かれ、中国地方整備局道路部の梅田俊夫道路保全企画官が「国土交通行政に係る最近の動向について」をテーマに取り組み状況などの説明を行った。



十河会長

半。事業担当は建築課。参加資格などは次の通り。

業務概要 ⅡRC造2階建延べ1924・01㎡の二保斎場のロビーなど空

学研究発表会を開催する。発表内容は、▽「24時